

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公開番号】特開2005-21611(P2005-21611A)
【公開日】平成17年1月27日(2005.1.27)
【年通号数】公開・登録公報2005-004
【出願番号】特願2003-270729(P2003-270729)
【国際特許分類第7版】

A 6 3 B 57/00

【F I】

A 6 3 B 57/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

地面に差し込んで自立させる脚部の上方に水平方向拡大部を備えた脚体に着脱可能に取り付けられるゴルフボール支持体であって、
内部が上下に開放したボール支持部を上端部に有し、そのボール支持部の下方に大寸法内部を有してなり、
前記大寸法内部の上部に、前記ボール支持部の内部を経て上方に開放した挿入開口を有すると共に、離脱防止用の内方突部を有し、大寸法内部の下方に、水平方向の内部寸法が前記大寸法内部よりも小さい脚部突出開口を有し、
前記脚体の脚部の少なくとも下部が前記脚部突出開口より突出し、前記水平方向拡大部が前記大寸法内部に収容されて前記内方突部により離脱が防止された状態で、脚体に取り付けられることを特徴とするゴルフボール支持体。

【請求項2】

地面に差し込んで自立させる脚部の上方に水平方向拡大部を備えた脚体に着脱可能に取り付けられるゴルフボール支持体であって、
内部が上下に開放したボール支持部を上端部に有し、そのボール支持部の下方に大寸法内部を有し、その大寸法内部の下方に、水平方向の内部寸法が前記大寸法内部よりも小さい小寸法内部が連通してなり、
前記大寸法内部の上部に、前記ボール支持部の内部を経て上方に開放した挿入開口を有すると共に、離脱防止用の内方突部を有し、
前記小寸法内部の下方に、脚部突出開口を有し、
前記脚体の脚部の少なくとも下部が前記脚部突出開口より突出し、脚部の上部が小寸法内部に収容されると共に、前記水平方向拡大部が前記大寸法内部に収容されて前記内方突部により離脱が防止された状態で、脚体に取り付けられることを特徴とするゴルフボール支持体。

【請求項3】

ボール支持部が、略上方又は上外方に突起する3以上の支持突起を有してなり、それらの支持突起の上にゴルフボールを支持するものであり、前記支持突起は、大寸法内部の外周部の上方に、大寸法内部の上方部を取り囲むように位置する請求項1又は2記載のゴルフボール支持体。

【請求項 4】

少なくとも小寸法内部の外周部が弾性材料からなり、その小寸法内部の外周部に、下端が脚部突出開口に達する 1 又は複数のスリット部を備え、そのスリット部の水平方向間隙が前記外周部の弾性的な変形により拡大して小寸法内部の水平方向の寸法が拡大し得るものである請求項 1、2 又は 3 記載のゴルフボール支持体。

【請求項 5】

少なくとも小寸法内部及び大寸法内部の外周部が弾性材料からなり、上記スリット部の 1 又は 2 以上の上端部が、大寸法内部の外周部に達するものであり、そのスリット部の水平方向間隙が前記外周部の一方又は両方の弾性的な変形により拡大して小寸法内部および／または大寸法内部の水平方向の寸法が拡大し得るものである請求項 4 記載のゴルフボール支持体。

【請求項 6】

少なくとも大寸法内部の外周部が弾性材料からなり、その大寸法内部の外周部に、上方に開放した切込部を 1 又は 2 以上有し、その切込部の水平方向間隙が前記外周部の弾性的な変形により拡大して大寸法内部の水平方向の寸法が拡大し得るものである請求項 1 乃至 5 の何れかに記載のゴルフボール支持体。

【請求項 7】

全体が弾性材料製である請求項 1 乃至 6 の何れかに記載のゴルフボール支持体。

【請求項 8】

上記内方突部を、周方向間隔を隔てた 2 箇所以上に有する請求項 1 乃至 7 の何れかに記載のゴルフボール支持体。